

中学校数学の移行措置について

(文部科学省の資料を基にして茨城県教育研修センターが作成)

現行課程(明朝体(細字))は省略)に新課程のゴシック(太字)を追加して指導
 明朝体(細字)の内容に付随する内容の取扱い(内取)は当然適用されない
 [数学的活動]は新学習指導要領の規定によることも可能



第1学年 標準授業時数 [H20 105(3)] [H21 ~ 140(4)] ()内は週当たりのコマ数

| 平成21~23年度 | |
|--|--|
| 現行課程 | 新課程 |
| <p>A 数と式</p> <p>(1) 正の数・負の数 ア 正の数と負の数の意味 イ 正の数と負の数の四則計算の意味と計算</p> <p>(2) 文字を用いた式 ア 文字を用いることの意義 イ 文字を用いた式における乗法・除法 ウ 簡単な一次式の加法・減法</p> <p>(3) 一元一次方程式 ア 方程式などの意味 イ 等式の性質と方程式 ウ 簡単な一元一次方程式の解法と利用</p> <p>[用語・記号] 自然数 符号 絶対値 項 係数 < ></p> <p>B 図形</p> <p>(1) 平面図形 ア 線対称, 点対称 イ 基本的な作図とその利用</p> <p>(2) 空間図形 ア 空間における直線や平面の位置関係 イ 空間図形の構成や表現 【内取3(4) 投影図は扱わない】 ウ 扇形の弧の長さや面積, 基本的な柱体, 錐体の表面積と体積</p> <p>[用語・記号] 弧 弦 回転体 //</p> <p>C 数量関係</p> <p>(1) 比例, 反比例</p> <p>ア 比例・反比例の意味 イ 座標の意味 ウ 比例・反比例の特徴 エ 比例・反比例の活用</p> <p>[用語・記号] 変数 変域</p> | <p>A 数と式</p> <p>(1) 正の数・負の数 ア 正の数と負の数の必要性和意味 イ 正の数と負の数の四則計算の意味 ウ 正の数と負の数の四則計算 エ 具体的場面における表現や処理 【内取3(1)数の集合と四則計算の可能性】</p> <p>(2) 文字を用いた式 ア 文字を用いることの必要性和意味 イ 文字を用いた式における乗法・除法 ウ 簡単な一次式の加法・減法 エ 文字を用いた式による表現や読み取り 【内取3(2)不等式】</p> <p>(3) 一元一次方程式 ア 方程式などの意味 イ 等式の性質と方程式 ウ 簡単な一元一次方程式の解法と活用 【内取3(3)簡単な比例式】</p> <p>[用語・記号] 自然数 符号 絶対値 項 係数 移項</p> <p>B 図形</p> <p>(1) 平面図形 イ 平行移動, 対称移動, 回転移動 ア 基本的な作図とその活用</p> <p>(2) 空間図形 ア 空間における直線や平面の位置関係 イ 空間図形の構成や表現 【内取3(5)のうち「投影図」】 ウ 扇形の弧の長さや面積, 基本的な柱体, 錐体, 球の表面積と体積</p> <p>[用語・記号] 弧 弦 回転体 ねじれの位置 //</p> <p>C 関数</p> <p>(1) 比例, 反比例 ア 関数関係の意味 イ 比例・反比例の意味 ウ 座標の意味 エ 比例・反比例の特徴 オ 比例・反比例を用いた具体的な事象の説明</p> <p>[用語・記号] 関数 変数 変域</p> <p>D 資料の活用</p> <p>(1) 資料の散らばりと代表値 ア ヒストグラムや代表値の必要性和意味 イ ヒストグラムや代表値による資料の傾向の把握と表現 【内取3(6)誤差や近似値, $a \times 10^n$】</p> <p>[用語・記号] 平均値 中央値 最頻値 相対度数 範囲 階級</p> |

| 平成21～23年度 | |
|--|--|
| 現行課程 | 新課程 |
| <p>A 数と式</p> <p>(1) 文字を用いた式の四則計算 ア 簡単な整式の加法・減法，単項式の乗法・除法 イ 文字式の利用 ウ 目的に応じた式の変形</p> <p>(2) 連立二元一次方程式 ア 二元一次方程式とその解の意味 イ 連立方程式とその解の意味 ウ 連立方程式の解法と利用</p> <p>〔用語・記号〕 同類項</p> <p>B 図形</p> <p>(1) 平面図形と平行線の性質 ア 平行線や角の性質 イ 多角形の角の性質</p> <p>(2) 図形の合同 ア 証明の意義と方法 イ 三角形の合同条件，三角形や平行四辺形の性質の論証（新ではア・ウに分割） ウ 円周角と中心角の関係 [H22年度から，第3学年で指導]</p> <p>〔用語・記号〕 対頂角 内角 外角 定義 証明</p> <p>C 数量関係</p> <p>(1) 一次関数 ア 事象と一次関数 イ 一次関数のグラフの特徴と利用 ウ 二元一次方程式と関数との関係</p> <p>(2) 確率 ア 起こり得る場合 イ 確率の意味と求め方</p> | <p>A 数と式</p> <p>(1) 文字を用いた式の四則計算 ア 簡単な整式の加法・減法，単項式の乗法・除法 イ 文字式の利用 ウ 目的に応じた式の変形</p> <p>(2) 連立二元一次方程式 ア 二元一次方程式とその解の意味 イ 連立方程式とその解の意味 ウ 連立方程式の解法と活用</p> <p>〔用語・記号〕 同類項</p> <p>B 図形</p> <p>(1) 平面図形と平行線の性質 ア 平行線や角の性質 イ 多角形の角の性質</p> <p>(2) 図形の合同 イ 証明の必要性和意味及びその方法 ア 三角形の合同条件 ウ 三角形や平行四辺形の性質の論証</p> <p>〔用語・記号〕 対頂角 内角 外角 定義 証明 逆</p> <p>C 関数</p> <p>(1) 一次関数 ア 事象と一次関数 イ 一次関数の特徴 ウ 二元一次方程式と関数との関係 エ 一次関数を用いた具体的な事象の説明</p> <p>〔用語・記号〕 変化の割合 傾き</p> <p>D 資料の活用</p> <p>(1) 確率 ア 確率の意味と求め方 イ 確率を用いた不確定な事象の説明</p> |

| 平成22・23年度 | |
|--|--|
| 現行課程 | 新課程 |
| <p>A 数と式</p> <p>(1) 平方根 ア 数の平方根の必要性和意味 イ 数の平方根を含む式の計算</p> <p>(2) 式の展開と因数分解 ア 単項式と多項式の乗法，多項式を単項式で割る除法 イ 簡単な一次式の乗法，簡単な式の展開や因数分解</p> <p>(3) 二次方程式 ア 二次方程式の必要性和解の意味 イ 簡単な二次方程式の解法と利用 【内取3(4)のうち「xの係数が偶数である簡単な例で，平方の形に変形して解く方法は知ることにとどめる」及び「解の公式は取り扱わない」】</p> <p>〔用語・記号〕 根号 素数 因数</p> <p>B 図形</p> <p>(1) 図形の相似 ア 図形の相似の意味，三角形の相似条件を用いた図形の性質の論証(新ではア・イに分割) イ 平行線と線分の比 ウ 相似の考えの活用</p> <p>(2) 三平方の定理 ア 三平方の定理の証明 イ 三平方の定理の意味と利用</p> <p>〔用語・記号〕</p> <p>C 数量関係</p> <p>(1) 関数$y = ax^2$ ア 事象と関数$y = ax^2$ イ 関数$y = ax^2$のグラフの特徴と関数のとる値の変化の割合</p> | <p>A 数と式</p> <p>(1) 平方根 ア 数の平方根の必要性和意味 イ 数の平方根を含む式の計算 ウ 具体的な場面での平方根を用いた処理</p> <p>(2) 式の展開と因数分解 ア 単項式と多項式の乗法，多項式を単項式で割る除法 イ 簡単な一次式の乗法，簡単な式の展開や因数分解 ウ 文字を用いた式による数量関係の説明</p> <p>(3) 二次方程式 ア 二次方程式の必要性和解の意味 イ 因数分解や平方の形に変形することによる二次方程式の解法 【内取3(3)のうち「平方して解くことの指導では係数が偶数であるものを中心とする」】 ウ 解の公式を用いた二次方程式の解法 エ 二次方程式の活用</p> <p>〔用語・記号〕 根号 有理数 無理数 因数</p> <p>B 図形</p> <p>(1) 図形の相似 ア 図形の相似の意味，三角形の相似条件 イ 三角形の相似条件を用いた図形の性質の論証 ウ 平行線と線分の比 エ 相似な図形の面積比と体積比 オ 相似な図形の性質の活用</p> <p>(2) 円周角と中心角の関係 ア 円周角と中心角の関係の意味と証明 イ 円周角と中心角の関係の活用 【内取3(4) 円周角の定理の逆】 [(2)は，現行第2学年から移行。但し「円周角の定理の逆」は追加。]</p> <p>(3) 三平方の定理 ア 三平方の定理の意味と証明 イ 三平方の定理の活用</p> <p>〔用語・記号〕</p> <p>C 関数</p> <p>(1) 関数$y = ax^2$ ア 事象と関数$y = ax^2$ イ 関数$y = ax^2$の特徴 ウ 関数$y = ax^2$を用いた具体的な事象の説明 エ いろいろな事象と関数</p> <p>D 資料の活用</p> <p>(1) 標本調査 ア 標本調査の必要性和意味 イ 標本調査による母集団の傾向の説明</p> <p>〔用語・記号〕 全数調査</p> |